

# 第15回 K I D' Sミニバスケットボール交流会競技規則

## 【 競 技 規 則 】

- ① 原則として日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則によって行う。
- ② 試合時間は、各クォーター5分、クォータータイム1分、ハーフタイム5分とし、4クォーター終了時点で同点の場合は引き分けとする。
- ③ タイムアウトは1試合を通じて2回取る事ができる。  
(交流会特別ルールとして、前半のみで2回、後半のみで2回という取り方も認める)
- ④ タイムアウト時に選手交代をする事ができる。(前半での交代も可)
- ⑤ 8名以上が必ず試合に出場すること。1人の選手が3クォーターを超えての出場はできない。
- ⑥ 試合球は人工皮革製5号球を使用し、各チームの持ち寄りとする。
- ⑦ ユニフォーム若しくはゲームシャツ（ナンバリング）を使用し、組み合わせ番号の若いチームを淡色とする。（濃淡のないチームがある場合は、対戦相手との協議によりユニフォームの色を変更しても構わない。ただし、ベンチはそのまま。）
- ⑧ ベンチ入り出来るメンバーについては特に制限を設けないが、指揮を執るコーチは腕章を付けること。
- ⑨ 当日やむを得ない事情により、7人以下での構成となった場合は1Q・2Q・4Qを行い3Qは休憩のため無しとする。また、4年生以下であることを考慮し、安全に留意して試合を進行する。

## 【 未 経 験 者 ・ 初 心 者 に 対 す る 配 慮 に つ い て 】

- ① フリースローラインは通常のラインの他に、ボードより3mの位置にも設置し、どちらのラインからフリースローを行っても構わない。  
※ 基本的には未経験者・初心者が3mのラインからフリースローを行う事とする。
- ② ファウルはケガ防止のため、競技規則どおりの判定をする。
- ③ ダブルドリブルは手の平が返った状態でのドリブルは基本的に“可”とし、初心者に見受けられる【ドリブル→キャッチ→ドリブル】はヴァイオレーションとする。
- ④ スローイン時のラインクロスはヴァイオレーションの判定はせず、指導をして再度スローインをさせる。
- ⑤ 制限区域内での3秒ヴァイオレーションのジャッジは行うが、審判の判断で初心者の選手に配慮（または指導）をする。

※ 原則としてディフェンスは、マンツーマン運用基準に基づいて行う。

但し、未経験者・初心者についてはこの限りではない。

**審判の判断で未経験者・初心者への配慮をお願いします。**